

					<h1>祝成人</h1> <p>出席者の紹介 (敬称略)</p>	



久しぶりに会った仲間と記念撮影。成人式での恒例の風景です

20歳の決意胸に 羽ばたけ新成人

“松の内成人式”
33人が出席し門出祝う



新成人を代表して中央区の熊谷伊寿美さんが決意を述べました

県内のトップを切って1月5日、平成20年村成人式が自然休養村管理センターで行われました。式には33人が出席し、20歳の門出を祝いました。当日は今年成人を迎える41人のうち男性23人、女性10人が出席。女性は華やかな振りそで姿に身を包み、男性は紋付きはかま、真新しいスーツを着こなし、20歳の門出に決意を新たにしていました。「松の内成人式」は村外への就職者や学生が集えるようにと、昭和49年から行われています。

村で培った人間性を大切に 大人の対応ができるよう精進したい

式では熊坂伸子教育長が新成人一人ひとりの名前を読み上げて紹介。続いて深渡宏村長から黒崎の長根健さんに「成人の証が手渡されました。道合多喜夫教育委員長は「古里・普代村に誇りを持ち、他人の痛みが分かる人間に成長してほしい」と式辞の述べ、深渡宏村長は「皆さんには無限の可能性が秘められています。何事にも一生懸命努力し

人生を大切に歩んでください」とはなむけの言葉を贈りました。中央区の熊谷伊寿美さんが新成人を代表し「普代村で培ってきた人間性を大切にしながら、今日の激励を胸に、世の中の創造に少しでも貢献し、どんな状況においても大人としての対応ができるよう日々精進していきます」と決意を述べました。



深渡宏村長から「成人の証」を受け取り握手を交わす長根健さん

第2部「新成人の主張」では、家族や中学時代の恩師らのビデオレターを鑑賞。恒例の「10秒スピーチ」では「仕事でライバルに勝ちたい」「就職できるように頑張りたい」とそれぞれが二十歳の思いを語り、新成人らは大人の仲間入りの自覚を新たにしていた。

成人式に出席できなかった方々は次のとおりです。

- ▽黒崎 森子春香(旧姓金子) ▽旭日区 道上葉月▽中央区 向川戸香織▽上区 深渡優志 熊谷ほなみ▽緑区 道下沙妃▽鳥居 小屋敷慎治▽芦渡 前川宏子 (敬称略)